

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 23 年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	関谷 高史	会員番号	0032056
申請者の所属・職名	慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室・助教		
出席会議名	Keystone symposia ・ Immunoregulatory Networks		
発表論文タイトル	Roles of the nuclear orphan receptor Nr4a2 in the induction, maintenance, and the suppressor function of regulatory T cells		

実施結果:

本学会は2011年4月1日～4月6日の6日間、アメリカ合衆国コロラド州で開催され、申請者は全日程に参加した。本学会は免疫制御のメカニズムを主要なテーマとしており、抑制性T細胞やサイトカインネットワーク、T細胞分化、活性化に関する世界的に著名な研究者が一堂に会し行われた。申請者は「Roles of the nuclear orphan receptor Nr4a2 in the induction, maintenance, and the suppressor function of regulatory T cells」という演題で、自身の最新の研究成果をポスター発表した。発表では、終了時間を大きく過ぎても多くの参加者から質問を受け、有意義なディスカッションを行うことができた。オーラルセッションでは、Diane Mathis, Alexander Rudensky, Anne O'Garra, Steven Zieglerなど当該分野の著名な研究者の研究成果が発表され、本分野の研究における最新の知見を数多く得ることができた。また、セッションを通して疑問点などは積極的に質問し、自身の今後の研究に対する有用な手掛かりを得ることができた。朝食、夕食時には相席した参加者と歓談し、積極的に親交を深めた。以上のように本学会参加は非常に有意義なものとなり、自身の今後の研究に大きく寄与すると期待できる。

今回、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award から補助を受けて本シンポジウムに参加し、研究成果を発表することができた。この場を借りてお礼を申し上げますと共に、今回の研究を今後の研究に活かしていきたい。